

市議会って

どんなところ？



三月七日から始まった三月定期市議会。広報委員会は、一般質問二日目の十二日、市議会におじゃまして、議会傍聴や知られざる裏舞台にスポットを当ててみました。

■一般市民が傍聴席に座るのに何か手続きがある？

特に手続きは必要なし。自分が聞きたい議員発言の日や質問内容については、議会事務局に問い合わせると教えてくれるとのこと。南国市議会の議員定数二十五。定期議会は三・六・九・十二月の四回。全議員は四つある常任委員会のいずれかに所属している（総務、建設、産業経済、教育民生各委員会）。また、議会運営委員会やいろいろな特別委員会の委員をいくつも兼任している。

九年度から議会広報が発行されることになり、六人の議員からなる編集委員会が発足した。（なんこく市議会だより）は五月刊予定。その中では議会内容はもちろん、各委員会活動の報告なども予定されているとのこと。市民に届けることを期待している。

▼議員控室は
テーブルにコーヒー、
ココア、お茶とポットが
用意されていてセルフサービス。
皆さん自分でコーヒーを入れて……

▼控室には南国市議会議員第一
代からの写真が飾られてい
る。第四代目（昭和四十六年）
から女性議員登場

▼議長室は南・西・北側がガ
ラス窓、明るくて眺めもよい。
議会のみならず、委員会にた
くさん所属しているの、ほと
んど毎日登庁しているとの
こと。

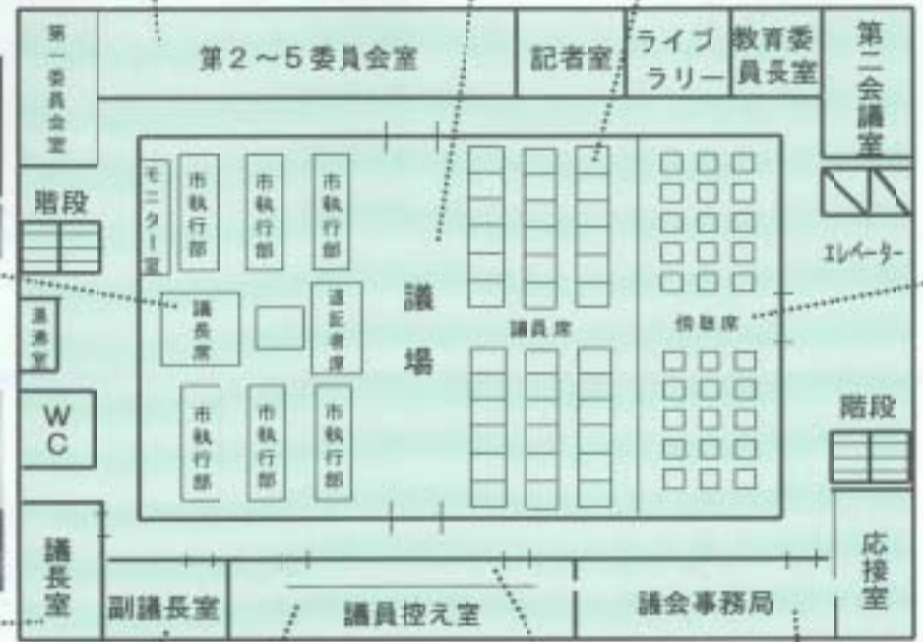
▼傍聴席は誰でもスリットと入
つていいんですが、議場では
帽子、コート、マフラーはあ
ぐと決まっているそうで、お
しゃれなベレー帽も脱ぐ決ま
りだとか。五十席は座れるけ
ど、あとは立ち見。あふれて
廊下にもいっぱいだったこと
もあるそうです。

▼途中で議場から中座すると
き、出口で議場中央に向かっ
て軽く一礼するのが、議会の
重みを感じさせます。



アコーディオンカーテンで
4つの部屋に分離。

5階平面図



数段高いところにある
議長席。議場全体に目を配
ります。



あまり入ることのない
議長室と副議長室。
興味津々……



ここで、休憩を取ったり、
質問内容の確認をしたり。



歴代議長の肖像画や写真が
飾られています。



議会運営のため、議会事務
局の職員が縁の下の力持ち
として、頑張ります。

三月議会 取材の感想

今回は、市議会を取材する
という事で、三月議会の定
例議会を見学・傍聴させても
らうことになり、まず議会の
始まる前に議場を見せていた
だきました。入り口の重い扉
を開けて中に入ると、床には
赤いじゅうたんが敷かれ、重
厚な雰囲気を出しています。
議場内は思ったより
は狭いように感じましたが、
ここで表々の身近な問題から
南国市全体を動かしていく議
題が審議され、市民の代表で
ある議員の皆さんによって議
決されていく過程を想像する
と、狭く感じた議場も南国市
の発展・躍進、そして輝かし
い未来づくりへのスタートに
思えて、とてつもなくスケ
ールの大きさを感しました。そ
して、議場の椅子・机そのひ
とつひとつが、南国市の三十
数年の市政の物言わぬ証人だ
であることを思い、歴史の重さ
を改めて知らされた気がしま
した。

次に傍聴席に座り、一般質
問を傍聴しました。ここでは
おとなしくしていないと議長
さんに退場を命じられるとあ
り、初め多少緊張はしたも
ののすくに雰囲気になれるこ
とができました。議員さんの
質問に対して、市長さんをは
じめ、各課の課長さんがいつ
になく緊張した顔（失礼）で
まるで試験を受ける学生さん
のような厳しい表情が、議会
の真剣さを傍聴席まで伝えて
いました。

取材してみても、我々市民の
議会に対する関心の低さを痛
感しました。議会が市民に対
して常に開かれたものであり
いつでも自由に見聞きできる
ものだというのを再認識す
るとともに、我々市民が選
出した議員さんが、市議会に
おいてどのような発言をなさ
るのか、選出した者の責任と
して知る必要があるのではな
いかなどという気がしました。
最後に、
ことしから
議員による
「市議会おた
より」も発
行されるということをうかが
い、市民が議会について知る
機会も増えるかと思います。
私自身も今回の取材を一つの
反省材料として、これを機に
議会へ足を運ぶようにしたい
と思いました。

